

3 Mac OS 版 セットアップガイド HDH-USRシリーズ

B-MANU200532-01
M-MANU200308-01

注意 本製品のセットアップ作業を説明しています。手順にしたがって作業を行ってください。
取り付ける前に本製品のシリアル番号をメモしてください。(別紙①ははじめにお読みください)の【箱の中には】参照

使えるようにする

1 OSを起動します。 まだ本製品を接続しないでください。
本製品は手順4になってから接続します。

2 本製品以外のUSB機器をできるだけ取り外します。

3 下の作業を行います。

Mac OS X の場合

※Mac OS X 10.4で、本製品をFAT32フォーマットでお使いの場合は、手順4へお進みください。

「ディスクユーティリティ(Disk Utility)」を起動します。
[起動ボリューム]→[アプリケーション]→[ユーティリティ]→[ディスクユーティリティ]を開きます。

Mac OS 9 の場合

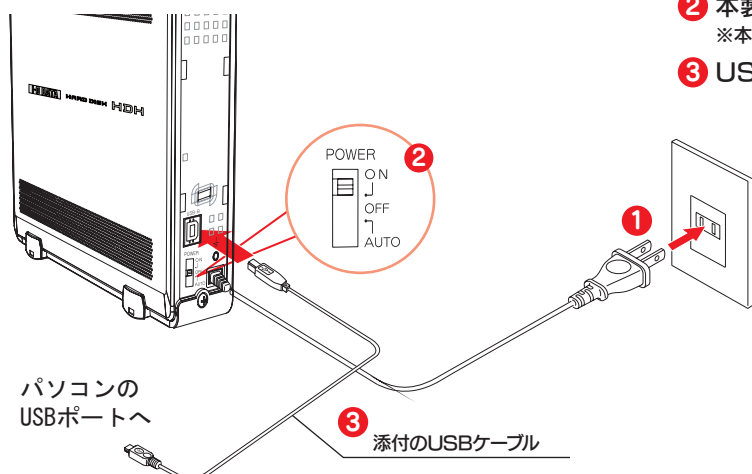
- 「機能拡張マネージャ」を開きます。
Apple → [コントロールパネル] → [機能拡張マネージャ]をクリックします。
- [File Exchange]を無効にします([X]を外す)。
- [再起動]ボタンをクリックします。Mac OSが再起動します。

(Mac OS 9の[機能拡張マネージャ]画面)



4 パソコンに接続します。

- 本製品の電源ケーブルを電源コンセントに接続します。
- 本製品の電源スイッチをONにします。
※本製品の電源(POWER)ランプが緑色に点灯します。
- USBケーブルを本製品とパソコンに接続します。



注意 ●コネクタの向きにご注意
コネクタは接続できる向きが決まっています。接続しにくい時は無理をせずに、コネクタの向きをご確認ください。誤った向きで無理に接続しようとすると、ケーブルやポートが破損するおそれがあります。

5 初期化します。

Mac OS X 10.4

本製品はご購入時、フォーマット済み(1パーティション、FAT32)です。そのままご使用いただけますが、Mac OS Xのみでお使いの場合は、初期化(フォーマット)することをおすすめします。

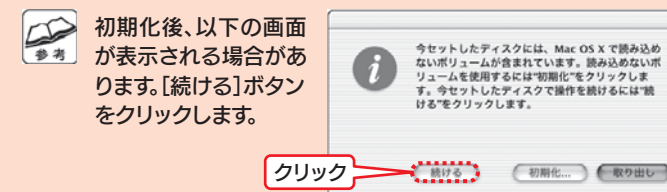
- 初期化(フォーマット)する場合
Mac OS拡張(ジャーナリング)形式で初期化します。
詳しい手順は、オンラインマニュアルの[Mac OS Xでの初期化]-[OS X 10.4の場合]を参照してください。
- ご購入時のまま(FAT32)でお使いになる場合
裏面の[Mac OS X 10.4 FAT32フォーマットでのご使用について]をご覧ください。次(手順6)におすすみください。

Mac OS X 10.1~10.3

- 本製品(I-O DATA HDH-USR Media)を選びます。
- [パーティション]タブをクリックします。
- 初期化の設定を行います。
■ボリュームの方式: 1パーティション
■フォーマット: Mac OS拡張 またはMac OS拡張(ジャーナリング)
- [パーティション(OK)]ボタンをクリックします。
- [パーティション]ボタンをクリックします。初期化が始まります。



※画面はMac OS X 10.3.3での例です。



※画面はMac OS X 10.3.3での例です。

? こんな時には…

本製品が表示されない

- 本製品が表示されるまで時間がかかる場合があります。もう数分お待ちください。

この画面は表示されてからしばらく経つと消えてしまいます。消えた可能性がある場合は、一度パソコンに接続しているUSBケーブルを抜き差ししてください。

Mac OS 9.1~9.2.2

- 右の画面が表示されます。
- 「名前」に本製品に付ける名前を入力します。
- 「フォーマット」を[Mac OS拡張]に設定します。
- [初期化]ボタンをクリックします。後は画面の指示に従ってください。
- 手順3を参考に「File Exchange」を有効にします([X]を付ける)。



6 確認します。

- アイコンの確認
ハードディスクのアイコンが増えていることを確認します。



- ランプの確認
本製品の電源ランプが緑色に点灯していることを確認します。

アイコンが表示されていない、ランプが点灯していない場合は、一度、パソコンに接続しているUSBケーブルを抜き差ししてみてください。

基本操作

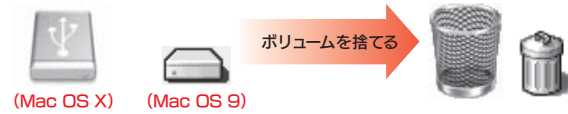
●本製品を使う上での操作について説明します。

【接続する】

本製品はいつでも接続することができます。手順 **4** を参照し、本製品を接続してください。

【取り外す】

- 1 本製品のボリュームをゴミ箱に捨てます。
- 2 本製品をUSBポートから取り外します。
- 3 本製品の電源スイッチをOFFにします。



Mac OS X 10.4 FAT32フォーマットでのご使用について

- 本製品の出荷時状態(FAT32フォーマット)でそのままご利用いただけますが、下記に注意してください。
 - FAT32フォーマットでご使用いただける1ファイルの最大サイズは4GBまでです。
 - 本製品をマウントする場合に時間がかかる場合があります。USB 2.0接続で数十秒かかる場合があります。
 - Mac OS X 10.4以外のMac OSでご使用いただく場合、FAT32フォーマットではご利用いただけません。
 - Mac OS Xのみでご使用いただく場合は、Mac OS拡張フォーマットでご使用いただくことをお勧めします。フォーマット手順はオンラインマニュアルを参照ください。

オンラインマニュアルについて

【困ったときには】などの情報があります。ぜひご覧ください。

- 1 サポートソフトを挿入します。自動的にサポートソフトの中身が表示されます。
※表示されない場合は[HDH_USRxxx]をダブルクリックして開いてください。
- 2 「manual.htm」を開いてください。

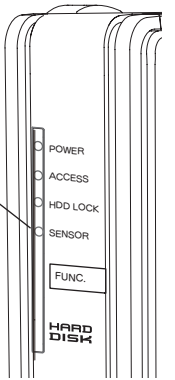
本製品使用上のご注意

- ケーブルを取り外すときは、ケーブル部分ではなくコネクタを持って取り外してください。
- ご利用の本体との組み合わせにより、スタンバイ、休止、スリープ、サスペンド、レジュームなどの省電力機能はご利用いただけない場合があります。
- 本製品にソフトウェアをインストールしないでください。
OS起動時に実行されるプログラムが見つからない等の理由により、ソフトウェア(ワープロソフト、ゲームソフトなど)が正常に利用できない場合があります。
- 他のUSB機器を使う場合は下記に注意してください。
 - 本製品の転送速度が遅くなる場合があります。
 - 本製品をUSBハブに接続しても使えないことがあります。その場合は、パソコンのUSBポートに接続してください。
- 本製品からのOS起動はサポートされておりません。
- Mac OSとWindowsでは、フォーマット形式の違いにより併用することはできません。
(Mac OS X 10.4でFAT32フォーマットで使用する場合を除く)
- Mac OS Xでコピーする際は、ファイルシステムの違いに注意してください。
コピー元とコピー先でファイルシステムが異なると、エラーが発生する場合があります。
その場合は、ファイル名(文字や文字数)を変えてください。本製品を「Mac OS拡張」で初期化して使うことをおすすめします。
- 本製品は1パーティションで使用することをおすすめします。
- Mac OSではiSPISセキュリティツールは使用できません。

Gセンサーについて

本製品にはGセンサーが内蔵されています。このセンサーにより、本製品への衝撃や傾きを検出してヘッドを退避させます。

センサーランプ



●本製品が倒れたときは

- 1 加速度センサーランプが点灯し、読み書きができなくなります。
- 2 本製品を元に戻します。センサーランプが消灯し、読み書きが可能となります。

※本機能は、衝撃や傾きによるハードディスクドライブへの損傷を軽減させるものであり、データを保証するものではありません。あらかじめご了承ください。



ファイルコピー中にGセンサーが働いた場合エラーが発生します。
エラーが表示されるタイミングおよびメッセージはお使いのOSにより異なります。
エラーが発生した場合は、センサーランプが消灯したことを確認してから再度コピーを行ってください。